



あゆみ

No. 162

令和 3年10月20日発行

編集 発行：社会福祉法人 啓明会 苔山寮・第二苔山寮
 〒863-0006 熊本県天草市本町下河内 680
 TEL 0969-22-5339・0969-22-1766 FAX 0969-22-5090
 E-mail reizanryou@miracle.ocn.ne.jp・reizan2@muse.ocn.ne.jp
 社会福祉法人啓明会ホームページURL <http://keimeikai.amakusa-web.jp/>
 施設の旬の話題を「**レイザンTOPIX**」にて更新中です。



「提案する仕事 その三」

施設長 鮑田 一夫

九月末で蔓延等防止措置も解け、当施設でも利用者の皆さんの行動範囲を少し広げることができました。今まで辛抱していた分、利用者の皆さんが嬉しそうなのは当然ですが、計画を立てる職員も心なしか嬉しそうです。今後第六波が来ると予測されていますが、コロナの状況を見極めながら、少しでもできることを工夫していきたいと思えます。

さて、シリーズ提案する仕事、今回は支援員です。支援員は利用者日々直接接し、生活全般を共に過ごすという、施設の中では最も大切な役割を担っています。施設での生活は毎日同じように流れていきますが、細部に目を懲らすと実は小さな変化が日々起こっています。支援員はそれに対応したり、また予測したりしていかなければなりません。そこでは今までと違うやり方、違う道具、違うコミュニケーション方法など、常に工夫と創造が必要です。言うなれば、支援という仕事の多くの部分に自らの提案が必要であるということです。その中の一例を紹介します。ある利用者さんは一日のうちでも気分の浮き沈みが大きく、

コンスタントに活動することが難しい方です。担当は、ソファや炬燵を使って部屋を居心地の良い空間に変えることを提案し、一人で部屋にいるときも落ち着けるようにしました。次に電気ポットを購入しインスタントコーヒを好きなときに飲めるようにしました。お陰で彼の部屋は他と差別化され落ち着ける空間ができあがりました。さらに、掃除や歩行に参加したときにはカレンダーに自分でシールを貼って、活動への参加状況を見える化しました。目標値も相談して設定しました。これらの提案は担当職員から利用者に対してされたものです。全て本人と相談し納得された上で実行されています。そうすることで利用者本人にも、自己コントロールへの自信と達成感が育っています。電気ポットやカップの始末も自分でされているのはその現れでしょう。

これはほんの一例ですが、私の知らないところではもっと色々なことが提案され実施されていることと思います。よどむ水は腐ると言います。日々生まれる新たな課題を受け止めて越えていくこそが仕事なのだと考えています。

サービスの現場より

『排泄支援の見直しについて』

支援課長 瀬崎 哲也



今年度の大きな取り組みの一つに、個々人における排泄全般の見直しを実施しています。

高齢化が進み、或いはご病気を患ったことにより、ご自分でトイレに行けない方や、尿意、便意の感覚に衰えが来たとし、思いがけず失敗される方々がいらつしやいます。そのお一人お一人の現状を踏まえ、現在の支援が最適であるか、確認することから始めました。

一日の排泄パターンとおむつやパッドの使用量、排泄のサイン、必要なのは排尿量の測定も行ってきました。週一回行われる検討会議にてデータを分析し、個々人における排泄時間を把握し誘導時間を算出しています。その結果、パッド使用量の削減、見逃しがちであったサインを全員で情報共有することで、失禁の軽減を図ることができました。また、『脱オムツ』を目標の一つに掲げ、お二人の方が、見事トレーニングパンツから脱することに成功しています。『できた』の体験は、きつとご本人に自信と意欲の高まりを、私達職員にも達成感をもたらすものと実感しています。

『私の担当利用者さんへの取り組み』

支援員 山本 勇太



私が担当させて頂いているTさんは、肌がとても弱くデリケートな方です。衣類で肌が擦れたり、支援を行う際に手が肌に触れただけでも怪我に繋がってしまいます。

そこで私達は、衣類の内側が肌優しいガーゼ素材の物、ズボンの上げ下げで肌が擦れないよう前開きの物を選び着用して頂いております。両足も肌の露出がないようにレングウオーマー使用して怪我の防止に努めています。又、両足の浮腫もある方なのでサポートスタッフに大きめの靴下を作って貰い足が締め付けられないよう工夫し、毎日のマツサージを行う事で浮腫の軽減に努めています。マツサージ中は「よかー」と気持ち良さそうな表情をして下さっております。車椅子使用の方なので、ベッドへの移行介助の際にも体が接触しないよう細心の注意を払い介助を行っています。今後も肌の状態を観察しながら怪我の防止に努め、Tさんが健康で安心安全な施設生活を送れる様に支援させて頂きたいと思っています。

『私の担当利用者さんへの取り組み』

課長補佐 株野 勝



私が担当させて頂いているKさんは、身体を動かす事が大好きな方です。特に外での活動を好まれ、力仕事を行う時は必要な存在です。悪天候等により外での活動が出来ない日が続くと、不安な表情をされます。そんなKさんに笑顔で過ごして頂く日を増やしたいという思いから、職員宅を回り空き缶回収をして頂く事を提案したところ、快く引き受けて下さり四月から取り組んで頂いております。この仕事で自分の仕事である事に自信と誇りを持って取り組んでおられ、回収した空き缶の洗い作業に至るまで、責任を持って下さいます。職員からも「ありがとうございます」と感謝の言葉を言われると、笑顔で応えて下さいます。

「外での活動をしたい」「人の役にたきたい」と望んでおられるKさんの思いを具現化する事で、Kさんの安堵感へと繋がっている事を信じて支援に当たらせて頂いております。今後もKさんの笑顔になれる事探しを続けながら、支援させて頂く所存です。

『サービスマネジメント基礎研修』

児童発達支援管理責任者基礎研修

支援員 若山 慎



十月一日、二日に令和三年度熊本県サービスマネジメント及び児童発達支援管理責任者基礎研修へ参加してきました。サービスマネジメントの主な業務として

では、先ず個別支援計画の作成です。アセスメントにより生活環境や心身の状態を把握した上で、本人・キーパーソンの意向を汲みながら支援内容を組み立てます。そして、その後半年に一回以上を目安にモニタリングを実施し、必要に応じて支援計画を変更するなど、着実に目標達成を目指します。その他、専門職、他事業所との連携も行いながら円滑にサービスマネジメント提供できるようなチームケアも必要となってきます。当施設では数名のサービスマネジメント取得者が在籍し、専門知識のもと利用者様へ最適なサービスマネジメント提供が行えるように支援しています。本研修を受講するまでは、恥ずかしながら入所施設と言う事を言い訳に、意思決定を尊重した個別支援計画ではあっても、どこかADLや課題行動に関しての能力評価をしまつていたり、安全性ばかりに着目したリスクマネジメント重視の傾向になっていたりに感じられ、視点切り替えを学ぶ良い機会となりました。もちろんリスクマネジメントも大切であり、ADLや課題行動を把握する事も必要ですが、あくまでアセスメントの一部として捉え、考えや思いを伝えることが困難な方の気持ちを色んな方面から見えて、考えて、傾聴して受容し、理解していく必要があります。私は他人に自分の人生を決めてほしくありません。サービスマネジメントは、大袈裟かもしれませんが、個別支援計画によって、人の人生を決めてしまう責任ある業務だと学びました。

『入職して二年が過ぎ』

支援員 橋本 定



第二茶山寮で仕事を始めて二年が経過し、先輩方に相談しながら日々の仕事ができるようになってきました。

忙しい中にも利用者さんと一緒に歩行をしたり、行事がある時は一緒に楽しんだり、一日があつという間に過ぎていきます。利用者さんの生きがいや特性、健康状態など多方面から考え支援計画を立て実行しますが、上手くコミュニケーションを取れないこともあり、様々な角度から観察し接することが大切だと感じています。

私が受け持った利用者さんの中に、とてもコミュニケーションをとる事が難しい方がいらつしました。話をしたくても避けられ、近付くとあつちへ行けと怒られる、どうしたらいいのかわからず、支援課長や先輩に相談していました。少しずつ昔の事を話したり、利用者さんの好きな俳優やテレビの話をしたりしているうちに、買い物や頼んでくれたり金銭の事を相談してくれるようになりました。どんな方でも関わりたいという気持ちをもち、少しずつ心の距離を近づけていく事でコミュニケーションがとれるようになる、信頼関係が築いていけるといことを学んだ出来事でした。

『入職して二年が過ぎ』

支援員 川口 真由美



令和元年九月に茶山寮に入職させて頂き、早三年目になりました。

以前は、老人介護施設や病院に勤務した経験はありましたが、障がいをもつていらつしやる方の生活支援施設での経験は無く、一年目は何をしたら良いのかわからず戸惑う事もありました。覚える事が多くあつという間に過ぎて行きました。二年目に入ると少し落ち着き、色々な事を先輩職員の方に相談し、支援の仕方や声掛けの仕方等、工夫しチャレンジする事も増えてきました。大変な時や困難な事柄でも、他支援員の方と話し合ったり相談したりする事が出来るようになります。不安な事も少しずつ減ってきました。又、利用者の方々の「おはよう」「ありがとう」等の声掛けに励まされる事も多く、日々楽しく仕事をさせて頂いています。

最近では、髪を切った事に気づき「髪切つたと、似合うよ」と誉めて下さる利用者の方もいらつしやり、支援員の事も良く見て下さっているんだと驚き、嬉しく思いました。今後笑顔も絶やさず、日々利用者の方々が楽しく、安全に過ごして頂ける様に支援して行きたいと思えます。

敬老・長寿のお祝い

令和3年 9月14日

【荅山寮：32名】

伊津野縫子さん (87歳)	砥上 武子さん (85歳)	岡部 亮一さん (84歳)
稲田キヨ子さん (82歳)	開田キミエさん (82歳)	安谷 紀子さん (82歳)
中村 英子さん (74歳)	西田 廣幸さん (74歳)	新谷八重子さん (73歳)
堤 佳子さん (73歳)	赤星 信一さん (72歳)	小田 義隆さん (72歳)
祝原 光則さん (71歳)	裏 敬治さん (71歳)	今井 次男さん (70歳)
富丸 忠雄さん (70歳)	福島千恵子さん (70歳)	内古閑元雄さん (69歳)
栗原 節子さん (70歳)	島田 盛二さん (69歳)	松本 隆さん (69歳)
大塚 治代さん (69歳)	金子 順子さん (69歳)	光井 正敏さん (68歳)
前田の婦子さん (68歳)	龍野 哲郎さん (67歳)	園田 幸子さん (67歳)
田中 忠信さん (66歳)	石川美恵子さん (66歳)	坂口美和子さん (66歳)
中村由佳里さん (66歳)	春日 勝也さん (65歳)	

【第二荅山寮：14名】

菅原 道正さん (83歳)	井手口秀彦さん (77歳)	柴田 勝則さん (77歳)
山隈 孝也さん (76歳)	藤井 良雄さん (74歳)	古川 秋男さん (73歳)
祝原 和則さん (72歳)	大久保實也さん (72歳)	山口 忠明さん (69歳)
里 信之さん (68歳)	坂口 保代さん (68歳)	山本智夏子さん (66歳)
吉田 実夫さん (65歳)	植村史津子さん (65歳)	

【GHつばさ：6名】

浦本 昭男さん (79歳)	鬼塚 豊志さん (79歳)	嶽坂 安男さん (78歳)
松本 良勝さん (75歳)	村本 政春さん (75歳)	中村 勇さん (69歳)

【長寿のお祝いを受けられた方：6名】

井手口秀彦さん (喜寿)	柴田 勝則さん (喜寿)	今井 次男さん (古希)
富丸 忠雄さん (古希)	栗原 節子さん (古希)	福島千恵子さん (古希)

これからも皆さんの明るい素敵な
笑顔を見せてくださいね！！

今年も敬老・長寿のお祝いのお会を開催させていただきました。新型コロナウイルス感染症対策のため、苅山寮と第二苅山寮で別々に会をさせていただきました。地域の方々との交流も出来ませんでした。利用者の皆さんも職員も笑顔で参加することが出来ました。この利用者さん達の笑顔こそ職員の原動力となります。今後も皆さんの笑顔が少しでも増えるように職員団結して頑張っていきます。



みなさん、これからも健康に注意して
長生きしてくださいね！！

【新利用者紹介】



星田 佳瑚さん(荅山寮)

十月一日から荅山寮を利用していただいています。アイドルが大好きで、写真をたくさん飾っています。これから素敵な笑顔を見せて下さい。

【新職員紹介】

池田 裕子さん(荅山寮)



九月一日より荅山寮にて支援員として勤務しています。明るい毎日のために、微力ながら自分出来ることを精一杯頑張ります。どうぞよろしくお願いします。

【退所利用者紹介】

村橋 やよいさん(グループホームカナン)

九月三十日に退所されました。今後の村橋さんのご活躍を祈念しております。

【利用者異動紹介】

▽吉村 裕貴さん(荅山寮)

↓第二荅山寮GH事業所)

▽グループホームカナン 第三弾

【グループホーム事業所紹介】第三弾
昨年の十二月よりグループホーム「はちまん」は「カナン」に名称が変わり、所在地も八幡町からグループホームつばさ・かなでのすぐそばの本町へ移転し、十月一日現在三名の女性利用者さんが生活されています。日中は生活介護を利用されている方、働きに行かれてる方と生活のスタイルは様々です。「アパートを借りて一人暮らしをしたい」と自立した生活を目標に掲げている利用者さんは、自炊をするために職員から料理を習ったり、一緒にお菓子作りをしています。夕飯時は、三人揃って和気あいあいと食事なさっています。利用者さんの自立の手助けが出来る様に、職員一同これからも支援を行っていきます。

利用者の風景

開田キミエさん

開田さんは現在八二歳です。日々行っている歩行については歩行器を使用し、自分のペースで棟内を半周又は一周歩いてくださっています。歩行前には「気を付けて歩いてきてくださいね」と伝えると「頑張ってくるね」と返事があります。ペースはゆっくりではありますが、途中休憩をしながら参加されています。「まだ、元気でおらんまんけん」と力強い声も聞かれ、まだまだ若さを感じさせてくれます。今後ケガなく元気で歩けるようにサポートしていきます。



菅原道正さん

七月に八三歳になられた第二荅山寮で最高齢の道正さんです。毎日ご自身が大好きな紙ちぎりをして過ごされていますが、握力の訓練にもなっており、今でもしっかりと手すりを掴んで立ち上がることが出来ています。また、紙ちぎりの最中に職員から冗談を言われると「何ば言いよつとかな！」と笑われるなどユーモアも持ち合わせておられる方です。

今後とも機を見て冗談を言い、笑い合いながら、元気に過ごして頂けるよう職員一同支援して参ります。



お祝い

荅山寮の中原支援員に第一子の広貴(こうき)くんが誕生しました。おめでとうございます。広貴くんの健やかな成長を願っております。



行事予定

(変更あり次第、ご連絡します)

十月 二二日

秋祭り(施設内)
第四回管内研修

十一月 九日

管内買物

十日

配置医来寮

十六日

創立記念日(五四年)

二六日

各種がん健診

十二月 一日

配置医来寮

四日

コココーラ交流会

編集後記

暑い暑いと言っているうちにあつという間に十月も後半になり、秋風が気持ちよい季節となりました。時折、肌寒く感じることもあります。さて、「〇〇の秋」もたくさんありますが、スポーツの秋もその一つです。一九六六年に十月十日が「体育の日」になり、今では「スポーツの日」となりましたが、この日が運動会だった人も多いのでは？湿度も低く日差しも強すぎない今の時期はスポーツにぴったりで。休みの日などは体を動かしてリフレッシュしましょう。

